



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社エフティグループ 上場取引所 東  
 コード番号 2763 URL http://www.ftgroup.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山本 博之 (TEL) 03-5847-2777  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	33,880	12.4	4,443	42.9	4,463	42.9	2,973	51.3
2018年3月期第3四半期	30,137	4.3	3,110	7.5	3,124	8.3	1,965	17.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,981百万円(43.0%) 2018年3月期第3四半期 2,085百万円(21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	90.27	89.70
2018年3月期第3四半期	59.14	58.76

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	25,156	14,086	54.2
2018年3月期	25,873	13,770	51.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 13,634百万円 2018年3月期 13,335百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2019年3月期	—	25.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	29.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	6.7	5,500	14.4	5,500	14.4	3,500	25.6	106.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	36,298,200株	2018年3月期	36,298,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,738,951株	2018年3月期	3,057,964株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	32,936,637株	2018年3月期3Q	33,235,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に支えられ緩やかな回復基調が続いている一方で、中国米国間の貿易摩擦、原油高や円安等の影響に留意が必要な状況となっております。

このような状況のもと当社グループは、「オフィスと生活に新たな未来を。」をキャッチフレーズに、中小企業・個人事業主及び一般消費者を対象としてネットワークセキュリティ及び情報通信インフラの整備並びに省エネルギーサービスの普及に努めると共に、お客様との契約後に継続的に収入が得られるストック系商品を中心とした自社サービスの企画開発販売に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同四半期の30,137百万円から3,742百万円増加し、33,880百万円（前年同四半期12.4%増）となりました。

営業利益は、前年同四半期の3,110百万円から1,332百万円増加し、4,443百万円（前年同四半期42.9%増）となり、経常利益は、前年同四半期の3,124百万円から1,339百万円増加し、4,463百万円（前年同四半期42.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の1,965百万円から1,007百万円増加し、2,973百万円（前年同四半期51.3%増）となりました。

主なセグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## (法人事業)

従来の情報通信サービス・環境省エネルギーサービスに加えて、法人事業ストックサービスの主力商品として、小売電力自社ブランド「エフエネでんき」の拡販に注力し、ユーザー数が順調に増加しました。

情報通信サービスではUTM (Unified Threat Management 統合脅威管理) をはじめとするネットワークセキュリティ装置及びセキュリティ系商品が前年同期比131.6%となり増収増益に寄与いたしました。

環境省エネルギーサービスでは日本国内で空調設備の販売が好調に推移いたしました。ASEAN地域では日本国内と同様に空調設備の販売が好調であったことに加えてコンプレッサー等新たな商品の販売を開始いたしました。

また、前連結会計年度に取り組んだ長時間労働抑止等の労働環境整備及び営業品質管理体制の構築・業務改善等の継続効果により、営業生産性が向上いたしました。

以上により、売上高は前年同四半期の21,502百万円から5,120百万円増加し、26,622百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同四半期の2,953百万円から775百万円増加し、3,729百万円となりました。

## (コンシューマ事業)

環境省エネルギーサービスでは太陽光発電設備における「再生可能エネルギーの固定買取制度」の期間満了が到来する、いわゆる2019年問題を追い風とした蓄電池の販売が引き続き好調に推移いたしました。

インターネット回線サービスでは当社ブランド「ひかり速トク」のサービスプランの拡充及びバックヤードの業務効率化等の取組を行いました。新規獲得営業は行っておりませんが、毎月のサービス利用料によるストック収益が業績に大きく寄与いたしました。

以上により、売上高は前年同四半期の8,864百万円から629百万円減少し、8,235百万円となり、セ

グメント利益（営業利益）は、前年同四半期の268百万円から636百万円増加し、904百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ717百万円減少し、25,156百万円となりました。これは、現金及び預金が2,649百万円減少したものの、その他（投資その他の資産）が1,623百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ1,033百万円減少し、11,069百万円となりました。これは、未払法人税等が1,076百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ316百万円増加し、14,086百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により2,973百万円増加したものの、剰余金の配当により1,549百万円減少したこと、自己株式を1,072百万円取得したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、2018年11月5日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2019年2月8日）公表の「2019年3月期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,223,908	7,574,747
受取手形及び売掛金	7,237,672	6,832,517
商品及び製品	1,380,497	1,227,021
原材料及び貯蔵品	414,131	525,617
その他	1,827,157	2,777,773
貸倒引当金	△350,922	△393,754
流動資産合計	20,732,443	18,543,922
固定資産		
有形固定資産	1,447,288	1,391,390
無形固定資産		
のれん	411,303	308,561
その他	236,624	242,173
無形固定資産合計	647,927	550,735
投資その他の資産		
その他	3,251,291	4,874,375
貸倒引当金	△205,143	△204,035
投資その他の資産合計	3,046,148	4,670,339
固定資産合計	5,141,365	6,612,465
資産合計	25,873,809	25,156,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,104,122	2,908,662
短期借入金	790,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	298,370	596,595
1年内償還予定の社債	320,000	320,000
未払法人税等	1,300,739	224,515
賞与引当金	250,447	164,335
返品調整引当金	78,387	67,335
製品保証引当金	14,955	18,523
その他	3,050,383	3,092,437
流動負債合計	9,207,407	8,142,406
固定負債		
社債	930,000	720,000
長期借入金	1,856,270	2,112,369
退職給付に係る負債	5,842	9,402
その他	103,993	85,597
固定負債合計	2,896,106	2,927,369
負債合計	12,103,513	11,069,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,606	1,344,606
資本剰余金	1,183,427	1,183,427
利益剰余金	12,955,697	14,335,479
自己株式	△2,185,472	△3,257,740
株主資本合計	13,298,259	13,605,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,275	21,028
為替換算調整勘定	1,481	7,825
その他の包括利益累計額合計	36,757	28,853
新株予約権	13,113	13,543
非支配株主持分	422,165	438,442
純資産合計	13,770,295	14,086,611
負債純資産合計	25,873,809	25,156,387

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	30,137,806	33,880,232
売上原価	17,031,228	20,258,369
売上総利益	13,106,578	13,621,863
返品調整引当金繰入額	36,839	-
返品調整引当金戻入額	-	11,052
繰延リース利益繰入額	-	51,594
差引売上総利益	13,069,739	13,581,321
販売費及び一般管理費	9,959,494	9,138,148
営業利益	3,110,244	4,443,172
営業外収益		
受取利息	2,521	8,046
業務受託手数料	10,184	10,636
為替差益	17,223	14,611
その他	42,022	34,980
営業外収益合計	71,953	68,274
営業外費用		
支払利息	31,601	22,313
社債発行費	3,689	-
その他	22,846	25,735
営業外費用合計	58,137	48,048
経常利益	3,124,060	4,463,398
特別利益		
固定資産売却益	24,428	795
特別利益合計	24,428	795
特別損失		
固定資産除却損	16,877	8,761
店舗閉鎖損失	1,635	-
特別損失合計	18,512	8,761
税金等調整前四半期純利益	3,129,975	4,455,431
法人税、住民税及び事業税	1,031,925	1,267,165
法人税等調整額	86,322	199,455
法人税等合計	1,118,248	1,466,621
四半期純利益	2,011,727	2,988,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,284	15,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,965,442	2,973,334



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,011,727	2,988,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,861	△14,254
為替換算調整勘定	28,559	7,152
その他の包括利益合計	73,421	△7,102
四半期包括利益	2,085,148	2,981,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,025,791	2,965,431
非支配株主に係る四半期包括利益	59,357	16,276

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。